

## 平成27年度花巻市博物館協議会 頂末

日 時 平成27年7月29日(水) 午後1時30分～午後3時

場 所 花巻市博物館 講座体験学習室

出席者

花巻市博物館協議会委員(10名)

大森 正志(東和小学校長)

菊池 博文(宮野目中学校長)

板垣 福子(花巻市地域婦人団体協議会副会長)

中島 健次(花巻市芸術協会会长)

伊藤 實(花巻史談会副会長)

佐藤 由紀男(岩手大学教育学部教授)

浅沼 昭男(大迫山岳会副会長)

佐々木 さつき(八重畠小学校学習アドバイザー)

平野 榮一(東和地区教育振興運動実践協議会会长)

高橋 久(前花巻市文化財保護審議会委員)

市側(5名)

高橋 信雄(花巻市博物館館長)

藤原 信悦(花巻市博物館副館長)

小原 克仁(花巻市博物館主任主査)

伊藤 順子(花巻市博物館主任主査)

照井 弘道(花巻市博物館上席主査)

次第

辞令交付

進行 異動等の理由により2名の委員の交代がありましたので開会にさきだち辞令交付を行います。

新たな任期は平成27年7月1日から平成28年6月30日までの1年間であります。

花巻市博物館長高橋信雄より、新任の花巻市立宮野目中学校長菊池博文氏、花巻市地域婦人団体協議会副会長板垣福子氏へ辞令を交付。

会議成立報告

1. 開会 藤原副館長

始めに花巻市博物館館長高橋信雄からご挨拶申し上げます。

2. 挨拶 花巻市博物館館長

お忙しいなか花巻市博物館協議会に出席いただきましてありがとうございます。

お陰様を持ちまして、昨年で10周年を迎えました。開かれた博物館として、市民に親しまれる博物館を目指して様々な活動を行ってまいりました。開館から11年を迎えた調査研究活動、展示活動、それから資料の収集保管、そして教育活動の大きな4つの柱を見直してより親しまれる博物館を目指しております。ただし、当博物館も含めてですが、大きな課題を持っております、当博物館がオープンした当初は、旧花巻市でスタートしております。中身的に旧花巻市の博物館です。しかしその後、石鳥谷町、大迫町、東和町と合併しました。当館は新市の博物館ですが、中身は旧花巻市のままで、努力はして参りましたが、大きな展示替えが出来ないという課題があります。また、それぞれ博物館の分館として花巻歴史民俗資料館、石鳥谷歴史民俗資料館、大迫山岳博物館、東和ふるさと歴史資料館が在った訳ですが、花巻歴史民俗資料館は高村光太郎記念館となり、大迫山岳博物館は花巻総合文化財センターという形で新しくなった訳ですが、東和ふるさと歴史資料館については後でお話ししますが、建物に消防法などの問題があつたりして現在は休館しております。経緯について説明したいと思っております。

11年目を迎えた博物館は様々な課題を抱えております。委員の皆様にご意見を頂きながら、そして、

今まで積み上げてきた実績に加えて、新たな事業を組でいきたいと思っていますので、皆様の忌憚のないご意見を賜り、それを活かしていきたいと思っておりますのでどうかよろしくお願ひいたします。

藤原副館長 それでは、これより、議事に入らせていただきます。

「花巻市博物館 管理運営規則 第7条第2項」に基づき「会長は会務を総理し」会議の議長となる」と規定されておりますので、以降は会長が議長となり議事進行をお願いいたします。以上で、事務局による進行を終了させて頂きます。

### 3. 議 事

- ・議 長 それでは、ただ今から平成27年度の花巻市博物館協議会を始めます。  
新しい委員も居りますので、改めて博物館協議会について確認します。  
当協議会は博物館法に則って設置されている協議会です。館長の諮問に答えるという事が大きな役目です。何かこの場で決めるということでは無く、皆さんのお意見を博物館の運営に反映させるものです、是非、皆さんのお意見を発言をお願いします。  
会の終了後、開催中の「観じる民藝展」を鑑賞して頂きたいです。  
ただ今から議事に入らせていただきます。最初に「平成26年度事業報告について」です。それでは、事務局から報告をお願いします。

議事(1)「平成26年度事業報告について」を議題とする。

- ・小原主任主査 26年度事業報告により博物館と石鳥谷歴史民俗資料館の活動報告を説明
- ・藤原副館長 26年度事業報告により東和ふるさと歴史資料館の活動報告を説明  
東和ふるさと歴史資料館関係資料「東和ふるさと歴史資料館の休館について」により説明
- ・議 長 質疑応答に入ります。質問、ご意見をお願いします。
- ・高橋委員 いつも石鳥谷歴史民俗資料館の菊池館長は出席していましたが、今日は見えませんが。
- ・藤原副館長 都合が付きました。
- ・高橋委員 判りました。東和ふるさと歴史資料館の事ですが、今後の見通しですが、検討委員会にお任せして、今後やるかやらないかが決まるのでしょうか。また、閉館になった場合、こども未来館に移ったとしてもどうなるのか見通しがあればいいと思います。
- ・平野委員 平野委員はどう思いますか。私は残しておきたいと思います。
- ・藤原副館長 東和ふるさと歴史資料館の資料は、継続して展示していきたいと考えております。また、こども未来館は平成15年開館ですが、現在閉館している施設で、床面積が258平方メートルあります。現在調査中ですが、課題があります、5千4百万円ほどで出来た建物で、国と県の補助金が入っています。児童館から展示施設への目的外利用のため用途変更に伴う補助金の返還が生じるのか調査中です。そのため今は判断が出来ません。
- ・高橋委員 何とかならないかな。東和ふるさと歴史資料館は、耐震工事とかしないと無理なんですね。現在の施設を壊して新しくするのなら、幾ら位かかるのでしょうか。
- ・藤原副館長 数字で表すことは難しいです。例えばですが、仮に東和ふるさと歴史資料館の南棟を建て替えるとして、坪単価を花巻市博物館の建設時の坪単価の50万円とすると4億6千万円となります。この数字は荒い計算式で、精査したものではないので、あくまでも参考としてください。
- ・高橋委員 東和ふるさと歴史資料館には、膨大な資料が在るので大事にしたい。他に施設がなければ難しいのか、今の施設に保存するという事はできませんか。
- ・藤原副館長 現在の資料を保管している場所は湿度が高いなど環境が悪く、保管資料に痛みが見えている。
- ・高橋委員 無理ですか。
- ・議 長 平野委員、どうでしょうか。
- ・平野委員 現在の保管場所は空調ができないという事でしょうから、博物館に持て来て保管できるスペースはあるのでしょうか。
- ・藤原副館長 ありません。

- ・平野委員 そうですか。話は飛びますが、太田に在った花巻歴史民俗資料館の資料は今は何処に在りますか。
- ・藤原副館長 一部博物館で保管していますが、東和ふるさと歴史資料館に保管してあります。
- ・平野委員 環境の悪い施設で保管しなければならないのが現状なのですね。
- ・藤原副館長 東和高校跡地はどうなのですか。
- 県では、希望があれば譲渡するようですが、学校なので、改修しなければ、現状のままでは保管施設としては使えない。検討委員会でも話が出ましたが、現実的ではないということでした。
- ・平野委員 八方塞がりですね。
- ・議長 私のほうからですが、東和ふるさと歴史資料館はもともと収蔵施設・博物館施設としては、不適切だったという事ですか、もともと温度湿度の管理ができない施設だったのでしょうか。湿度が高いということはどういうことですか。
- ・藤原副館長 もともと空調設備が無かった、湿度が高いと言っても全部ではない。
- ・議長 もともと東和病院として作られた病院施設を資料館とする時に保管環境を検討しなかったのか、博物館の使命は資料を後世に残していくことです。これが大事なことです。当初から博物館として適切な施設ではなかったことが大きな問題だったと思います。
- もう一つ、これに係って、気になることが、東和ふるさと歴史資料館検討委員会が設けられていますが、検討委員会自体が東和の地域コミュニティーで組織されている事で、全国的に博物館に係る検討委員会には県議会議員とか市議会議員とかが入っている。
- 博物館を良くご存じと方が入るのが通常の在り方です。
- ・藤原副館長 まだ検討する段階で、積み重ねをしています。色々な観点から検討しているところです。
- ・議長 この施設は博物館類似施設ですか。そうすると、博物館法の枠外ですけれども、博物館法等を考えると博物館の使命とか国が示している基本的な博物館の在り方とかからするとずれていることが見受けられます。そのことを踏まえて、検討委員会の委員には、博物館に詳しい人を入れてもらいたい。
- 博物館の基本的な在り方に詳しい方に入ってもらいたい、この博物館の学芸員のOBの方とか近隣の博物館の学芸員の方とか、地元に密着して研究をしている方とか、そういう方々の意見を、今からでは難しいかもしれないが、最終決定する前にそういう方々の意見を強く反映されていかないと博物館の在り方自体が、特に古い建物を利用するということは大変難しい事で、多くの博物館が何らかの失敗をしている。展示内容とか空調とか何らかの失敗をしている。
- 今回のもその事例に当てはまる可能性があるのではないかと思いますので、今後古い建物を利用して新たに展示室とか収蔵庫を設ける場合には、特に注意をして頂かないとならないと思います。
- 他に事業報告につきましてご意見・御質問はありますか。
- ・議長 特に無ければ26年度報告を終了し、次の（3）の27年度計画について事務局から説明をお願いします。
- 議事(3)「平成27年度事業計画について」を議題とする。
- ・小原係長、27年度事業計画により説明
- ・小原係長 行事案内をご覧ください。もうすでに終了した展示会もありますが、テーマ展春の収蔵資料展華やぐ時間、テーマ展多田等観展を開催しました。特別展「観じる民藝展—柳宗悦に学んだ一尾久彰三コレクション」、その後、テーマ展秋の収蔵資料展—刀と刀装の美、特別展「現代の名刀展—北海道・東北の刀匠—」、共同企画展ぐるっと花巻・再発見—東和町の画人—菊池黙堂、テーマ展花巻人形展、を開催します。
- 講座については、博物館長講話6回、博物館講座4回、古文書解説会3回開催、体験学習は新しいメニューを2つ追加して、勾玉つくり2回、琥珀玉つくり2回、縄文弓矢・火起こし体験2回、夢灯りつくり2回、花巻人形絵付け体験2回、こけし絵付け体験2回、壁掛け傘つくり体験1回、縄文あんぎん編み体験2回の予定です。

石鳥谷歴史民俗資料館は通常の展示です。東和ふるさと歴史資料館は休館中です。最近、民藝について話題になっておりますし、今年は日本刀について色々取り上げられています。この様に、市民に親しまれる展示会を今後も開催していきたいと考えております。

- ・議長　　ただ今の事についてご意見、ご質問がありましたらお願ひします。  
・浅沼委員　花巻人形についての高橋館長のコラムが岩手日報紙に連載されています  
記事の内容を見た方が、市民の中に貴重な資料を持っているという人が出てきました是非そういう記事に乗った実物を展示して説明してもらえば、地元の人に花巻人形への理解が深まるのではないかでしょうか、検討していただきたい。花巻人形への関心が盛り上がりればいいのではないかでしょうか。  
・高橋委員　今のことですが、入館者が倍増するのではないかでしょうか。どういう経緯で企画がなされたのかと思い、大変嬉しくなったのですが、その辺の経緯はどうなのでしょうか。  
・高橋館長　去年、人形の歴史展を開催したものですから、一生懸命取り組んだので、花巻人形が素晴らしいことを一般の方々に解りやすく紹介したいという話が岩手日報の学芸から話がありまして、それではやりましょうということです。今は花巻人形を離れて人形の歴史の話をしています。もうすぐ戻ります。日報のコラムは1話完結なので連続しないので、難しいのですが、人形の歴史から花巻人形への話をていきます  
花巻の人は「花巻人形か」と思うのですが、「中央から見たら花巻人形は素晴らしいのだよ」ということを、花巻人形の良さについて紹介したい。  
花巻人形を作った江戸時代のそれぞれの工人の人たちが如何に勉強していたということを紹介したい。  
例えば、花巻人形の「山姥」が何故あんなに美人なのか、不思議でしようがなかったのですが、調べていくと歌麿を真似ているのが判った、歌麿の画いた絵の中に、山姥を画いた絵が12点ばかりあります、その絵を手本にしている、花巻人形の工人たちが歌麿の絵を勉強しないと作れないわけです。工人たちが一生懸命勉強してたから花巻人形は凄いよというのがあり、花巻人形の工人たちが頑張ったというのを知ってもらえばいいなと思います。来年3月まで50数回続きます。  
・議長　　去年の花巻人形展を見ますと冬から春にかけての開催期間なのに入館者が多いように思われます。それだけ、花巻の人が花巻人形に関心が高いということだと思います。  
ほかにはいかがでしょうか。  
・伊藤委員　2つあります、1つ目は、花巻史談会の役員会での話ですが、今の博物館では花巻人形の紹介が素晴らしい、多田等觀の資料の展示が素晴らしいと評価が大変高いのですが、花巻城の紹介がいつあるのかと役員会で言われるのですが、花巻城についてや城下町について、いつ取り上げられるのか将来の展望についてお聞きしたい。できれば、学芸員の誰が何を担当しているのか知りたい。もう7月なので、来年のものにはならないでしょうが、いつ頃になるのか聞ければいい。  
2つ目は、県立博物館の展示会で「商家の暮らし」という花巻の佐藤家の展示がされている、高橋館長の講演会もある。花巻のことなので、花巻市博物館でもやっていただきたいと思います。  
花巻市博物館でも出来るのか出来ないのか知りたい。  
・議長　　高橋館長いかがですか  
花巻城に関しては、もう少し検討させていただきたいと思っております、先般花巻城の検討委員会が立ち上がった。新興所の跡地についてはまだなのですが、市で取得した武徳殿の東側を発掘調査することで進んでいます。今後、花巻城のことが判ってくるのではないかと期待しています。それを含めて、博物館で調査研究を進めていくべきだろうと思っています。じつは、北松斎の展示会をまだやっていない。そこで、きちんとやるにはどうすれば良いのか検討したい。基本は学芸員の調査研究に基づいて展示発表を行うもので、これも含めて今後どうやっていくのか検討させていただきと思っております。佐藤家につきましては、早い時期に県博に寄贈された。その後何回かに分けて追加の寄贈がされた。佐藤家の親類家については花巻市博物館でも調査された分もあるので、そ

れも含めて、花巻市博物館できちんと調査してから県博から資料を借りてきて、花巻でも紹介できる機会を設けることが出来ると思います。

花巻は城を基準に町づくりをしたところなので、それを踏まえて、城と町づくりの調査研究をして展示会に進めて行きたい。私も微力ながら花巻城の調査に関わって行きたいと思っています。

ありがとうございます

この前の花巻城の説明会に行こうと思っておりましたが、行けませんでした。

伊藤委員にお聞きしたい、反響はどうでしたか。

参加希望者から「西御門はどこですか」という問い合わせがあった。

花巻城の本丸の入り口は2か所です、場所を説明するのに苦労した。

また、参加者から土日開催の希望があった。家族で参加したいと希望があった。

次回は10月3日土曜日に開催する予定です。

それから花巻小学校の5年生の学習に花巻城が入っている。

私も花巻城の模型を見てイメージが掴めたので、市民に花巻城を知ってもらうにはどうすれば良いかを考えています。

そういうことで、極めて反響は良かったと思っています。

そこで、花巻市博物館の常設展示に活かしてほしい。つまり、花巻城の企画展があれば、かなり皆が関心をもって来てくれると思う。私はそれを期待している。

この前、遠野市立博物館に行きました、南部藩の展示に北松斎が出てくるが良く解らないので、その辺も含めて是非やってもらいたい。学芸員に期待しています。

先ほどの平成26年度報告の中で「特別企画展、花巻周辺の城館と城下町・城下集落～中世から近世期の支配拠点と地域社会」の中で花巻城についても紹介しました。

常設展と連動していなかった面がありますので、今後の展示会に活かしていきたいと思います。

ありがとうございます。

他にはございませんか。

「観じる民藝展」の「観じる」というネーミングは誰が考えたのでしょうか。

今回の展示会のコレクションを所蔵している尾久彰三氏の著書の中で使われている言葉です。尾久氏の「見て観じる」ということからタイトルが付いています。

素敵なタイトルだと思います。春の収蔵資料展の「華やぐ時間」も惹かれるネーミングです。多田等觀展の「美仏礼讃」も素敵です。ちょっと博物館に行ってみようかなと思うネーミングだと思いますので、是非、今後もこの様なネーミングで市民の皆さんに周知していただければいいと思います。

先ほど、東和ふるさと歴史資料館の休館の説明がありましたけれども、市民から休館について苦情は無かったという話ですね、これは市民の関心が薄いということでしょうね。関心を示す数値としてこの花巻市博物館の展示会の入館者数に表れていると思います。博物館の年度別入館者の推移を見まして、開館の年は7万人で翌年から下がっていき、24年、25年に回復している、吉村作治氏の展示会と藤城清治氏の展示会が当たったわけですから、人々が関心をもつ展示会を開催すれば人が集まるという事です。また、26年度年間入館者表を見ると人が多いです、精査すると多分、年配者が多いと思います。若い人が来ていないじゃないかと思われます、賢治記念館に行くと若い人がいっぱい来ています。ですから、若い人に合わせた企画をすれば、もっと若い人の入館者数が増えると思います。

もう一つ、小中学生を見ると、有料入館者と無料入館者があります。これは、企画展は有料ということですか。小中学生の有料、無料の区別はどこにありますか。

市内の小中学生は「ふるさとパスポート」を利用すれば無料になります、市外の小中学生は有料になります。

企画展だから有料では無いのですね。

今回の企画展では、小中学生は無料に設定しております。昨年度の企画展も無料として

- ・菊池委員 いました。  
条例があるのですね。小中学生を全て無料にすれば、小中学生には親が付いて来ますので、入館者が増えるという効果があると思います。
- ・議長 ありがとうございました。  
昨年の反省を踏まえて、今回の企画展ではPRに力を入れています。テレビ・ラジオで紹介してもらっていますし、岩手日日新聞や、岩手日報にも掲載されましたし、「いわにちリビング」には広告を掲載する予定です。
- ・議長 他にはございませんか。  
平成27年度の事業計画についてはこれで終了します。
- 次に、議事の（3）その他について、何かあればお願いします。
- ・平野委員 博物館のホームページにアクセスするためのアドレスを教えてもらいたい。行事予定に載っているアドレスで繋がる訳でしょうが、他にはありませんか。
- ・照井上席主査 博物館のホームページは花巻市のホームページの中に在りますので、花巻市のホームページから入れます。
- ・平野委員 博物館の展示会や行事なども載っているのでしょうか。
- ・照井上席主査 博物館の年間の展示会、行事が載っています。
- ・平野委員 博物館法とか良く知らないのですが、博物館協議会で話題にした事がホームページやインターネットに全部、載ることになるのでしょうか。
- ・伊藤係長 協議会の議事録は総務課へ報告しています、そして、総務課の方で議事録の開示を行なっております。ホームページでも見られるようになっております。今日の議事録も総務課へ報告しますので、見ることができます。
- ・平野委員 一委員の発言も一般に公開されるのですね。
- ・伊藤係長 そうです。
- ・議長 博物館のホームページに掲載しているのですか。
- ・伊藤係長 博物館のホームページには掲載していません。
- ・小原係長 花巻市のホームページに各種審議会の議事録が公開されているページがあります。
- この前、インターネットの検索で自分の名前を入れてみたら、同姓同名が沢山出てきたのですが、私本人が出てきたので見てみたら、この博物館協議会で私が発言をした事が載っていたので驚いたのです。
- ・議長 ほかにありませんか、よろしいでしょうか。
- それではこれにて議事の一切を終了させていただきます。
- 各委員におきましては、活発な意見をありがとうございました。
- ・藤原副館長 ありがとうございました。

#### 4. その他 藤原副館長

4. その他ございますか。  
委員、事務局とも特になしで終了します。

#### 5. 閉会 藤原副館長

- 熱心に審議していただきましてありがとうございます。  
この後、企画展「観じる民藝展」を観覧していただきたいです。  
本日は大変ご苦労さまでした。是にて平成27年度第1回花巻市博物館協議会を終了いたします。